

北國がオムロンらの挑戦退け独走態勢へ

～第41回日本ハンドボールリーグ・第12週～

第41回日本ハンドボールリーグ・第12週は、年明け早々の1月7、9日に石川などで女子6試合が行われ、首位の北國銀行がオムロン、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングの挑戦を退けて開幕10連勝を飾り、独走態勢を固めた。2位以下はオムロンから5位の広島メイプルレッズまで勝点4差に4チームがひしめく大混戦。次週も愛知などで女子3試合が行われ、中でもプレーオフ争いに直結するオムロン-三重バイオレットアイリス戦がハイライト。ソニー、広島の戦いぶりも注目される。

7日石川の北國-オムロンは、日本選手権で北國の連覇を止めたオムロンが東濱のシュートやアシストで前半6分4-1と好スタートを切った。それでも北國は河田のミドルシュートなどで対抗して10分4-4と追いつくと、ここからオムロンに立て続けに退場者が出て北國がスパート。途中出場の八十島のサイドシュートなどで16-9と7点リードで前半を終えた。後半に入っても北國ペースが続き、角南、後藤らがコンスタントに加点、2度の退場機もGKを下げた6人攻撃でしのぎ、GK寺田の好守や横嶋のミドルシュート、アシストなどでリードを広げ、27-16と大量11点差をつける快勝で全勝を守った。

岐阜の飛騨高山ブルックブルズ岐阜-三重は、宮崎のロングシュートで先制した飛騨高山が、さらに金恩恵の連打や池之端のインターセプト速攻などで開始5分5-1とリードしたところで三重がタイムアウト。落ち着きを取り戻した三重は相手のファウルを誘い7mスローなどで加点。その後、接戦が続いて12-10と三重リードで折り返した。後半、流れを変えたい飛騨高山は果敢に前に出るディフェンスからの速攻で4分に同点とし、さらに和田の投入でセットプレーにもリズムが生まれ、21分には22-17と混戦を抜け出した。26分には金が退場して三重に7mスローを与えるが、これをGK田口が好セーブ。そのまま流れを渡さず23-20で飛騨高山が今季待望の初勝利をあげた。

鹿児島の子ー広島は、前半立ち上がり、広島・門谷がサイドシュートで先取点をあげるも、ソニーは安倍、川村、藤田の連続得点やGK飛田の7mスロー阻止を含む3連続セーブもあって7分6-1と主導権を奪った。その後も藤田らの活躍で先行を続けたソニーが14-9と5点リードでUターン。後半に入り、広島は新加入の李美京のミドルシュートや堅いディフェンスで15分に16-16同点に並び、21分には逆転に成功した。このあとは一進一退の攻防が続く大接戦に。地元の声援を背に受けたソニーが26分から錦織、鈴木、諸岡の3連打で23-22と鮮やかに逆転、そのままリードを守り切って上位戦線に踏みとどまる貴重な勝利をものにした。

9日石川の北國-ソニーは、開始早々に田邊のサイドシュートで北國が先制。ソニーも鈴木のプロットプレーで得点を返し、その後は互いに点を取り合う展開が続き、北國が11分7-4と先行したところでソニーがタイムアウトを要求。16分にソニーが9-9と同点に追いつくも、すぐさま3連打で主導権を奪い返した北國が15-12で前半を折り返した。後半に入り、ソニーは藤田、川村らで7分16-19と必死に粘るが、地力に勝る北國が再び角南らの3連取で優位をキープ。ソニーはダイバの失格もあって苦しい展開となり、26-21で勝利した北國が開幕から無傷の10連勝を飾るとともに、リーグ連勝記録を41と伸ばした。



㊤北國・河田㊦オムロン・山中㊧三重・花村

第13週の日程

1月14日(土)	愛知	ブラザー体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	H C 名古屋 × ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
	熊本	山鹿市鹿本体育館(九州産交バス「坂東バス停」下車、徒歩3分)	14:00~	(女)	オムロン × 三重バイオレットアイリス
1月15日(日)	愛媛	松山市総合コミュニティセンター体育館(JR予讃線松山駅徒歩10分)	13:00~	(女)	北國銀行 × 広島メイプルレッズ

男女個人ランキング 第12週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 東江雄斗 (大同特殊鋼)	90点 (12試合)	1 横嶋彩 (北國銀行)	48点 (10試合)
2 趙顯章 (琉球コラソン)	79点 (12試合)	2 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	46点 (10試合)
3 石川出 (琉球コラソン)	67点 (12試合)	3 多田仁美 (三重バイオレットアイリス)	42点 (11試合)
4 藤坂知輝 (北陸電力)	65点 (12試合)	4 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ)	40点 (10試合)
5 山田隼也 (トヨタ東日本)	60点 (11試合)	4 池原綾香 (三重バイオレットアイリス)	40点 (11試合)
6 池上直輝 (北陸電力)	58点 (12試合)	6 吉田起子 (オムロン)	37点 (8試合)
7 小塩豪紀 (豊田合成)	56点 (12試合)	6 金恩恵 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	37点 (11試合)
8 玉井宏章 (トヨタ東日本)	54点 (11試合)	8 河田知美 (北國銀行)	36点 (10試合)
9 渡部仁 (トヨタ車体)	53点 (11試合)	8 高山智恵 (広島メイプルレッズ)	36点 (10試合)
10 藤本純季 (トヨタ車体)	51点 (11試合)	10 松尾祐依 (オムロン)	35点 (10試合)

フィールド得点

1 趙顯章 (琉球コラソン)	79点 (12試合)	1 池原綾香 (三重バイオレットアイリス)	40点 (11試合)
2 東江雄斗 (大同特殊鋼)	71点 (12試合)	2 河田知美 (北國銀行)	36点 (10試合)
3 石川出 (琉球コラソン)	67点 (12試合)	2 高山智恵 (広島メイプルレッズ)	36点 (10試合)
4 藤坂知輝 (北陸電力)	65点 (12試合)	2 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	36点 (10試合)
5 山田隼也 (トヨタ東日本)	60点 (11試合)	5 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ)	34点 (10試合)
6 池上直輝 (北陸電力)	58点 (12試合)	5 横嶋彩 (北國銀行)	34点 (10試合)
7 小塩豪紀 (豊田合成)	56点 (12試合)	5 川村杏奈 (ソニーセミコンダクタ)	34点 (10試合)
8 玉井宏章 (トヨタ東日本)	52点 (11試合)	5 多田仁美 (三重バイオレットアイリス)	34点 (11試合)
9 渡部仁 (トヨタ車体)	50点 (11試合)	9 鵜場雅子 (北國銀行)	33点 (10試合)
9 朴重奎 (大同特殊鋼)	50点 (12試合)	10 勝連智恵 (オムロン)	31点 (10試合)

シュート率

(フィールド得点ベスト10を対象)

1 渡部仁 (トヨタ車体)	50点/ 66射 0.758	1 藤田明日香 (ソニーセミコンダクタ)	34点/ 52射 0.654
1 朴重奎 (大同特殊鋼)	50点/ 66射 0.758	2 勝連智恵 (オムロン)	31点/ 48射 0.646
3 山田隼也 (トヨタ東日本)	60点/ 95射 0.632	3 池原綾香 (三重バイオレットアイリス)	40点/ 64射 0.625
4 石川出 (琉球コラソン)	67点/ 115射 0.583	4 鵜場雅子 (北國銀行)	33点/ 53射 0.623
5 東江雄斗 (大同特殊鋼)	71点/ 128射 0.555	5 河田知美 (北國銀行)	36点/ 59射 0.610
6 趙顯章 (琉球コラソン)	79点/ 146射 0.541	6 横嶋彩 (北國銀行)	34点/ 74射 0.459
7 玉井宏章 (トヨタ東日本)	52点/ 97射 0.536	7 高山智恵 (広島メイプルレッズ)	36点/ 79射 0.456
8 藤坂知輝 (北陸電力)	65点/ 122射 0.533	8 川村杏奈 (ソニーセミコンダクタ)	34点/ 75射 0.453
9 小塩豪紀 (豊田合成)	56点/ 107射 0.523	9 多田仁美 (三重バイオレットアイリス)	34点/ 80射 0.425
10 池上直輝 (北陸電力)	58点/ 135射 0.430	10 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	36点/ 102射 0.353

7mスロー得点

1 鈴木濟 (トヨタ紡織九州)	23点 (12試合)	1 横嶋彩 (北國銀行)	14点 (10試合)
2 東江雄斗 (大同特殊鋼)	19点 (12試合)	2 吉田起子 (オムロン)	12点 (8試合)
3 連基徳 (琉球コラソン)	15点 (12試合)	3 原希美 (三重バイオレットアイリス)	11点 (10試合)
4 藤本純季 (トヨタ車体)	13点 (11試合)	3 加藤夕貴 (三重バイオレットアイリス)	11点 (11試合)
5 吉田翔太輝 (トヨタ東日本)	12点 (11試合)	5 笠木美希 (広島メイプルレッズ)	10点 (10試合)
6 東江太輝 (湧永製薬)	10点 (11試合)	6 金恩恵 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	9点 (11試合)

シュート阻止率

(フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 甲斐昭人 (トヨタ車体)	126本/ 323射 0.390	1 寺田三友紀 (北國銀行)	146本/ 287射 0.509
2 岩下祐太 (トヨタ紡織九州)	133本/ 353射 0.377	2 山根エレナ (三重バイオレットアイリス)	87本/ 198射 0.439
3 木村昌文 (大崎電気)	138本/ 371射 0.372	3 板野陽 (広島メイプルレッズ)	147本/ 336射 0.438
4 志水孝行 (湧永製薬)	120本/ 340射 0.353	4 飛田季実子 (ソニーセミコンダクタ)	87本/ 206射 0.422
5 田村大 (琉球コラソン)	110本/ 314射 0.350	5 山中絵里奈 (オムロン)	92本/ 220射 0.418
6 藤田卓吾 (豊田合成)	137本/ 395射 0.347	6 田口舞 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	144本/ 355射 0.406
7 久保侑生 (大同特殊鋼)	134本/ 401射 0.334	7 瀧澤瞳子 (H C 名古屋)	72本/ 183射 0.393
8 関勝志 (トヨタ東日本)	103本/ 347射 0.297		
9 岩龍哉 (北陸電力)	114本/ 402射 0.284		

7mスロー阻止率

(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 松村昌幸 (トヨタ車体)	4本/ 13射 0.308	1 瀧澤瞳子 (H C 名古屋)	4本/ 11射 0.364
2 木村昌文 (大崎電気)	3本/ 11射 0.273	2 宮川裕美 (オムロン)	6本/ 17射 0.353
3 下野隆雄 (トヨタ紡織九州)	8本/ 31射 0.258	3 飛田季実子 (ソニーセミコンダクタ)	3本/ 10射 0.300
4 藤戸量介 (豊田合成)	5本/ 21射 0.238	4 田口舞 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	3本/ 13射 0.231
5 関勝志 (トヨタ東日本)	3本/ 13射 0.231	5 網谷涼子 (ソニーセミコンダクタ)	2本/ 11射 0.182

第 41 回 日本ハンドボールリーグ 成績表

第12週第2日目終了 1月9日

順位	男子	大同特殊鋼		トヨタ車体		大崎電気		湧永製薬		琉球コラソン		豊田合成		トヨタ自動車東日本		トヨタ紡織九州		北陸電力		試合数	勝数	引点数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		27	22	27	22	21	28	20	22	31	33	28	24	27	29	32	29	28	18								
1	大同特殊鋼	○	○	●	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	10	1	1	21	322	281	41		
2	トヨタ車体	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	9	0	2	18	330	282	48		
3	大崎電気	○	○	○	○	△	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	7	2	2	16	294	269	25		
4	湧永製薬	△	●	●	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	6	2	3	14	276	273	3		
5	琉球コラソン	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	6	1	5	13	348	336	12		
6	豊田合成	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	5	1	6	11	323	314	9		
7	トヨタ自動車東日本	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	3	2	6	8	297	293	4		
8	トヨタ紡織九州	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	1	10	3	275	337	-62		
9	北陸電力	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	0	0	12	0	277	357	-80		

順位	女子	北國銀行		オムロン		三重バイオレットアイリス		ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング		広島メイプルレッズ		HC名古屋		飛騨高山ブラックブルズ岐阜		試合数	勝数	引点数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		26	27	26	27	30	29	30	26	24	16	27	16	29	23								
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	10	0	0	20	271	167	104
2	オムロン	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	7	0	3	14	221	186	35
3	三重バイオレットアイリス	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	6	0	5	12	236	234	2
4	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	5	0	5	10	199	213	-14
5	広島メイプルレッズ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	5	0	5	10	200	212	-12
6	HC名古屋	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	2	0	8	4	176	237	-61
7	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	1	0	10	2	179	233	-54

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。